

7. 統合失調症の診断で入院後 1 ヶ月目の患者が、「この頃、立ちくらみがするのは、変な薬を飲まされているからではないかと思う」と訴えた場合、可能性が大きいものを 2 つ選んで下さい。

- 1) 被毒妄想がみられる。
- 2) 薬物療法の副作用が生じている。
- 3) 体感幻覚が生じている。
- 4) 治療への疑問や主治医への不信感が芽生えかけている。
- 5) 緊張による不安症状が強まっている。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

8. うつ病患者からよく聞かれる訴えを 2 つ選んで下さい。

- 1) 自分の考えが、他人に知られてしまう。
- 2) うまくいかないのはすべて、自分のせいのように思える。
- 3) 周囲が不気味な感じに受取れる。
- 4) 考えが途中でぷっつり切れてしまう。
- 5) 外の世界が生き生きと感じられない。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

9. うつ状態について、正しいものを 2 つ選んで下さい。

- 1) うつ病の症状は気分の変動なので、認知の歪みを生じることはない。
- 2) 軽いうつ状態は、嗜癖(アディクション)の誘因となりやすい。
- 3) うつ病患者の自殺企図は、うつ状態のもっともひどい時期に多い。
- 4) うつ状態の初期には、軽度の運動が症状の軽減に役立つ。
- 5) うつ状態の患者に、希死念慮があるかどうかを尋ねることは避けた方がよい。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

10. てんかんの症状と、それへの対処方法として、正しいものを 2 つ選んで下さい。

- 1) 若年期に発症し、特別の外的要因が認められないてんかんは、症候性と分類される。
- 2) 単純部分発作は意識障害を伴わない。
- 3) 欠伸発作(小発作)は、子供に見られる 1 分程度の意識消失発作である。
- 4) 強直間代性けいれん(大発作)は、真性てんかんに特有の症状である。
- 5) てんかん治療に使われるフェニトインは、副作用として歯肉が肥厚しやすい。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

11. 神経症の症状について、誤っているものを 2 つ選んで下さい。

- 1) 神経症では、偽痴呆の症状を呈する場合がある。
- 2) 心気症の患者は、身体症状に無関心となりやすい。
- 3) 不安神経症(パニック障害)では、過呼吸発作が起こることがよくある。
- 4) 神経症には原因となる出来事があり、本人はそれを自覚している。
- 5) ヒステリー(解離性障害)の患者は、もうろう状態になることがある。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

12. アルコール依存症と嗜癖(アディクション)について、下線①~⑦に当てはまる語を入れて下さい。

- 1) アルコール依存症の患者は、アルコール飲用を中止した 2, 3 日後から約 1 週間にわたって、
① _____ として、② _____ せん妄をきたすことがよくある。
- 2) 長期にわたる大量飲酒や栄養障害によって痴呆(認知症)が生じる③ _____ 症候群の主症状